

観点別評価の評価観点(国語科)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	定期試験	・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な古語や文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。
思考・判断・表現	定期試験	・文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	漢字テスト・単語テスト 発表・レポート 課題提出 単元末作文	・情報を吟味し、表現を工夫して、積極的に学習課題に沿って自分の考えを論述しようとしている。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。 ・進んで言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることや、我が国の言語文化の特質について理解し、学習の見通しをもって、自分の言語文化のルーツについて学ぼうとしている。

観点別評価の評価観点(数学科)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	・定期考査 ・小テスト ・課題	各単元についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。
思考・判断・表現	・定期考査 ・小テスト ・課題	数式を目的に応じて適切に変形する力、グラフや図形を多面的にとらえ論理的に考察し表現する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	・ノート ・課題、レポート ・授業中の発言、取り組み方	・数学を活用しようとする態度を持って、粘り強く考え判断しようとする取り組み態度。 ・自らの学習状況を把握し、その過程を振り返りながら学習の進め方について試行錯誤しながら評価・改善したりしようとする態度。

観点別評価の評価観点(英語科)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	・定期考査 ・小テスト・宿題	英語を読み・聞き・書き・話すために必要な音声、語彙、文構造、文法を理解し、英語を運用するための技能が身についている。
思考・判断・表現	・定期考査・プロジェクト ・プレゼンテーション ・グループワーク ・読書・宿題	様々な課題を通して身に付けた知識や技能を使って、英語を読み・聞いた時に、内容の概要や要点を把握できる。また自分の意見や気持ちを英語で話し・書いて相手に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度や意欲 ・宿題、ノート提出 ・読書 ・オンライン配信課題	・英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に英語を使ってみようとする意欲や態度が身についている。 ・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法などを自ら改善しようとする態度が身についている。 ・設定された期限までに課題を完成させるのに必要な学習管理及び調整能力が身についている。

観点別評価の評価観点(社会科)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	定期試験 小テスト 課題	様々な世界の相違点に着目しながら、各事象における基本的な概念や原理・法則などを理解している。 資料や地図・統計の読み取りなど基本的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	定期試験 小テスト	様々な世界の相違点に着目しながら課題を見出し、各事象において多面的・多角的に考察している。 必要な資料の選択とともに、国際社会の変化を踏まえたうえで公正に判断をして、自らの考えを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	発表・レポート 授業態度 課題提出	意欲的に授業に取り組むとともに、グループ活動等を通して各事象との関りを意識し、自ら深く学ぶことができる。グループ内での話し合いにおいて自ら得た情報をもとに意見交換を行い、より良い資料作りを行っている。 これまで身につけた技術をもとに、あらゆる表現方法で課題内容への評価・改善しようと探究している。

観点別評価の評価観点(理科)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	定期試験・小テスト	・各科目の基本的な内容について定期試験で問い、その結果を数値化して評価する。具体的には、教科書の「問」や、問題集の基本例題を解くことができるかどうかを評価する。 ・小テストを実施した場合は、この結果も加味する。
思考・判断・表現	定期試験・小テスト	・各科目の標準～応用的な内容について定期試験で問い、その結果を数値化して評価する。具体的には、教科書の「章末問題」や記述型の問題を解くことができるかどうかを評価する。 ・医進コースについては授業内で大学入試問題も扱うので、それに準ずる難度の問題への取り組みも評価の対象とする。 ・小テストを実施した場合は、この結果も加味する。 ・実験を行った場合は適宜「実習テスト」を実施し、実験中の所作の意味や、得られたデータから導き出せる結論などを総合的に評価し数値化する。
主体的に学習に取り組む態度	課題・授業内での発表・授業態度等	・定期的に課題の提出を求め、その完成度を評価する。 ・授業内で質疑応答を行い、その成果から理解度を評価する。 ・実験を行った場合は、実験中の所作(正しい所作が行えているか・その意味を理解しているか・周囲と協働できているかどうか・教員の指示を守っているか等)の巧拙を評価する。

観点別評価の評価観点(情報)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	定期試験 小テスト 課題	教科書の重要語句が把握できている。主に情報に関する法規や制度・情報セキュリティの重要性・情報モラルについて事実に知識を習得している。
思考・判断・表現	定期試験 小テスト	学習ノートの記録・取り組み。情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する判断が身についている。コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考えることが出来ている。
主体的に学習に取り組む態度	PCへの取り組み 授業態度 課題提出	意欲的に授業に取り組むとともに、PCでの表計算・文章の打ち込み等ができています。これまで身につけた技術と共に ルールやマナー、情報モラルに配慮して、情報技術を社会の発展に役立てようとしている。

観点別評価の評価観点(保健)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	定期試験 小テスト 課題提出	・適切な生活行動を選択し、実践すること及び環境を改善していく必要がある事を理解している。 ・個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけている。
思考・判断・表現	定期試験 小テスト	・自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他人の意見や考えを聞いたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断している。
主体的に学習に取り組む態度	発表・レポート 授業態度 課題提出	・健康の保持増進に必要な事柄について関心を持っている。 ・仲間と協力して資料を集めたり、意見交換している。 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

観点別評価の評価観点(体育)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	観察 発問・発言 実技試験	・運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や、生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。
思考・判断・表現	観察 発問・発言 実技試験	・自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	観察 発問・発言 授業態度	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

観点別評価の評価観点(芸術)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	観察 発問・発言 実技	基本的概念の確認 色相・明度・彩度・構成の理解 用筆・運筆等基本の理解
思考・判断・表現	観察 発問・発言 実技	客観的にもものを見るから主観的に見るへ 自由な発想で独創的に作品制作にあたっているか。 用筆・運筆から生み出される書の表現性と表現効果について理解する。
主体的に学習に取り組む態度	観察 発問・発言 授業態度	伝統・文化の継承と発展・創造的な活動に取り組む、感性を高め心豊かな生活や社会を創造する態度を養う 積極的・主体的に作品制作に取り組む創造性を高めているか

観点別評価の評価観点(家庭科)

項目	評価方法	評価の観点
知識・技能	定期テスト 実習 (被服・調理・保育・住居)	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけている。
思考・判断・表現	定期テスト 実習の記録 映像資料の視聴の感想	家庭や地域及び社会における生活の中での問題を見出して課題設定や、解決策を構想をし、実践を評価・改善につなげ、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	学習プリント・作品提出 授業態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善するなど、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。